

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	香川森林計画区（かがわ） （香川県）	事業実施主体	四国森林管理局 香川森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>香川県全域を対象とする香川森林計画区は、都市部を中心に約100万人の人口を抱え、多様な経済活動が行われており、水土保全、自然環境の保全など公益的機能の発揮に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、同計画区の国有林野7,530haのうち森林居住環境整備事業対象地以外の6,036haを対象としており、こうした地域の要請に応えつつ、重視すべき森林の機能区分に応じた森林資源を造成するとともに、これに必要な林道整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>16 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>233 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>8.1 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>4.1 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	16 (ha)		保育面積	233 (ha)	路網整備	開設延長	8.1 (km)		改良延長	4.1 (km)
森林整備	更新面積	16 (ha)													
	保育面積	233 (ha)													
路網整備	開設延長	8.1 (km)													
	改良延長	4.1 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	692,254千円													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>122,530千円</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>58,560千円</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>12,484千円</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>1,541,547千円</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>561,492千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,296,613千円</td> </tr> </table>		水源かん養便益	122,530千円	山地保全便益	58,560千円	環境保全便益	12,484千円	木材生産便益	1,541,547千円	森林整備経費縮減等便益	561,492千円	計	2,296,613千円
	水源かん養便益	122,530千円													
山地保全便益	58,560千円														
環境保全便益	12,484千円														
木材生産便益	1,541,547千円														
森林整備経費縮減等便益	561,492千円														
計	2,296,613千円														
分析結果（B/C）	3.32														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 水土保全、自然環境の保全など公益的機能の発揮に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、水源地の状況など地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 森林整備に当たっては、植栽本数の減、保育の省力化など低コスト化に取り組むこととしている。 また、林道開設に当たっては、現地発生材料の利用などコスト縮減を図ることとしており、十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成18年度～平成22年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	今治松山森林計画区（いまばりまつやま） （愛媛県）		事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>愛媛県北部の今治松山森林計画区は、都市部を中心に約80万人の人口を抱え、多様な経済活動が行われており、水土保全、自然環境の保全など公益的機能の発揮に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、同計画区の国有林野2,513haを対象としており、こうした地域の要請に応えつつ、重視すべき森林の機能区分に応じた森林資源を造成するとともに、これに必要な林道整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 15%;">5 (ha)</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>113 (ha)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.5 (km)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.5 (km)</td> <td></td> </tr> </table>				主な事業内容	森林整備	更新面積	5 (ha)				保育面積	113 (ha)			路網整備	開設延長	2.5 (km)				改良延長	2.5 (km)	
主な事業内容	森林整備	更新面積	5 (ha)																					
		保育面積	113 (ha)																					
	路網整備	開設延長	2.5 (km)																					
		改良延長	2.5 (km)																					
費用対効果分析	総費用（C）		299,921千円																					
	総便益（B）	水源かん養便益	129,239千円																					
		山地保全便益	29,868千円																					
		環境保全便益	6,497千円																					
		木材生産便益	538,872千円																					
		森林整備経費縮減等便益	325,403千円																					
		計	1,029,879千円																					
	分析結果（B / C）		3.43																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 水土保全、自然環境の保全など公益的機能の発揮に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、水源地の状況など地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 森林整備に当たっては、植栽本数の減、保育の省力化など低コスト化に取り組むこととしている。 また、林道開設に当たっては、現地発生材料の利用などコスト縮減を図ることとしており、十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																							

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	香川
森林計画区	香川
事業名	森林環境保全整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		(千円)			
		森林整備計	路網整備計	計	
水源かん養便益	洪水防止便益	66,869		66,869	
	流域貯水便益	24,118		24,118	
	水質浄化便益	31,543		31,543	
国土保全便益	土砂流出防止便益	58,560		58,560	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益	12,484		12,484	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益		1,200,674	1,200,674	
	木材利用増進便益		10,207	10,207	
	木材生産便益(森林整備分)	17,038		17,038	
	木材生産便益(路網整備分)		313,628	313,628	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益		56,265	56,265	
	作業道作設経費縮減便益		118,800	118,800	
	治山経費縮減便益		338,317	338,317	
	森林管理等経費縮減便益		48,110	48,110	
総便益額 (B)		210,612	2,086,001	2,296,613	
総費用額 (C)		66,136	626,118	692,254	
費用対効果分析 (B) / (C) =				3.32	

注) 1 に適宜入力する。

2 (B) / (C) 1.0 であれば、社会経済的に評価でき、実行可能性があることを意味する。

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	愛媛
森林計画区	今治松山
事業名	森林環境保全整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		(千円)			
		森林整備計	路網整備計	計	
水源かん養便益	洪水防止便益	72,686		72,686	
	流域貯水便益	24,391		24,391	
	水質浄化便益	32,162		32,162	
国土保全便益	土砂流出防止便益	29,868		29,868	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益	6,497		6,497	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益		395,052	395,052	
	木材利用増進便益		3,819	3,819	
	木材生産便益(森林整備分)	13,628		13,628	
	木材生産便益(路網整備分)		126,373	126,373	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益		9,438	9,438	
	作業道作設経費縮減便益		34,481	34,481	
	治山経費縮減便益		269,545	269,545	
	森林管理等経費縮減便益		11,939	11,939	
総便益額 (B)		179,232	850,647	1,029,879	
総費用額 (C)		27,102	272,819	299,921	
費用対効果分析 (B) / (C) =				3.43	

注) 1 に適宜入力する。

2 (B) / (C) 1.0 であれば、社会経済的に評価でき、実行可能性があることを意味する。